

# 『認定社会福祉士制度への期待』 —医療分野から—

戸田中央医科グループ本部  
医療福祉部部長 野口百香

# そもそも医療現場とは・・・

## —認定資格制度の観点から—

**医師：各種学会による認定医・専門医資格多数**

**看護師：協会による10分野の専門看護師、21分野の認定看護師**

**薬剤師：大学や学会等による各種認定資格**

**臨床検査技師：同上**

**診療放射線技師：同上**

**理学療法士・作業療法士・言語療法士：各職能団体による専門・認定制度**

**→専門職集団の現場であり、いずれの専門職も「認定制度」による質の維持向上は当たり前**

# これまで医療現場でMSWは…

- 社会福祉士を基礎資格とし、他の医療関係職種と協働してチーム医療の一翼を担い
- 複雑で解決困難な課題を持つ方々に対し、関係機関との連携のもと、長年、精力的に支援に取り組み問題解決の実績を上げてきた
- 質の担保なくして有効な業務遂行は不可能と考えて、日本医療社会福祉協会は研修活動と認定制度の設立にいち早く着手

# 今、医療現場では…

- これまでの支援の中心であった複雑で解決困難な課題を抱える患者・家族への介入に加え
- わずかな支援を必要とする大勢の患者への支援の必要性が非常に高まっている
- マンパワーの強化が図られないと、必要とする多くの相談に支援が追いつかない現状

# これからの医療現場では・・・

## —診療報酬改定の動きから—

- 財政事情から医療の高度・スリム化は回避できず
- 地域・関係機関への適切な橋渡しを必要とする患者・家族は増大
- 生活も視野に入れた包括的な医療サービスの提供が行われなければ医療機関は機能せず
- 有効な支援のできるSWの多数配置が鍵を握る
- その前提は資質の向上＝認定制度へ期待

# 認定資格制度への期待

## ①患者様、ご家族に対して

困難な課題に対しても有効な支援を求められるSWの  
資質向上のために

## ②所属機関に対して

組織の中で信頼される専門職としての基盤を固め、運営  
やチーム医療に貢献できる部署となるために

## ③地域・社会に対して

質の担保が図られている専門職集団と認知されるために